

shixpoDR#20 『越後・分断3ヶ旬国道と山古志探訪』 問題の答えと解説

2013/12/11 訂正

2013/12/2

距離(km)			問題		正解率
クラス	ダンガン	エンジョイ			
スタート～1CP	15.60		Q-A	平成25年3月16日から柿ノ木駅は臨時駅になったため。	44%
1CP～2CP	5.30		Q-B	県道広神小出線	100%
2CP～3CP	8.13		Q-C	120217mm	89%
3CP～4CP	8.17		Q-D	石あげ地蔵	100%
4CP～5CP	9.59		Q-E	(昭和)35年	100%
5CP～6CP	10.17		Q-F	17.0	89%
6CP～7CP	7.32		Q-G	46人	89%
7CP～8CP	12.08		Q-H	29台	100%
8CP～9CP	13.85		Q-I	24%	67%
9CP～FCP	8.27		Q-J	5866m	89%
	98.48		Q-K	山古志側坑口のコンクリート巻立て工事	100%
			Q-L	イチョウ	100%
			Q-M	東京 星野嘉夫	100%
			Q-N	たばこや	56%
OD	5.988		Q-O	滝沢馬琴「南総里見八犬伝」	100%
			Q-P	水準測量	44%
			Q-Q	萱峠コース	89%
			Q-R	1人後	100%
			BQ-a	FCP	100%
			BQ-b	小平尾トンネル	100%
			BQ-c	8年後	75%
			BQ-d	Q-Hの近く	75%
			BQ-e	酒井省吾	100%
			BQ-f	79歳	100%
			BQ-g	22か月後	50%
			BQ-x	小千谷市総合産業会館サンプラザ	キャンセル

【解説】 コース

私も初めて走るエリアで、試走時も時間の許す限り観光(問題作成?)を楽しみました。 今回のコースは、コース案内にも書きましたが、カー雑誌「Driver」誌の企画『ニコニコドライブ』をベースに作成したコースで、DANGAN CLUBさんからも一部コースの情報(3CP先のダート)も頂き、またDANGAN CLUBさんが活動の拠点を関東から関西に移される事もあり、DANGAN CLUBさんへの送別の意味合いもありました。クイズのQ-Oは、DANGAN CLUBさんが好きな「南総里見八犬伝」を答えてもらう設問にしました。以上のようにちょっと思い入れのあるコースだったのですが、新潟と言う地理的な問題と、開催期間中の最終週にはかなりの雪が降り、コースのほとんどが積雪し、3CP先は冬の通行止めになってしまった事もあり、参加チーム数が1桁という非常に寂しい結果になったのが残念でした・・・(ToT)積雪のため、通行できない箇所を迂回されて、解けるだけのクイズを解いて頂き、不通区間が多いにも関わらず解答を提出して頂いた方もいらっしゃいました。特に通過CP数の制約を設けていませんので、解答を受理いたしました。

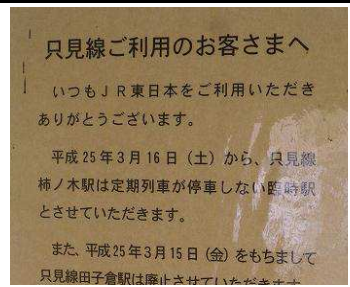
【解説】 距離

13図前後が工事で通行出来ない時期があり、また12図先の新道工事が完了し、旧道が通れなくなりました。 区間距離を公開して対応させて頂きましたが、一部の方から『その区間の距離計測精度が変わり不公平になるのでは?』との疑問も頂きましたが、公開した距離も誤差を含んでいますので影響ないとの判断をさせて頂きました。また開催地が遠方で再走などの対応が出来なかった事も理由の1つです。ご了承ください。

【解説】クイズ

予習問題が数問ありましたが、それ程厄介な問題や引っ掛け問題も無かったと思うのですが、意外な問題を間違えられた方が多かった様に思います。また、shixpoDR#19ではボーナスクイズでボーナス点を獲得されたチームが1チームでしたが、**今回も1チームだけでした。** ※BQ-cの解説参照ください。

A 駅の時刻表の近くに貼ってあった「只見線ご利用のお客さまへ」の張り紙に書かれてありました。まさに「ローカル線」らしい内容だと思ひ問題にしました。只見線は2011年新潟・福島豪雨の影響で、今も会津川口～只見駅間の運転を見合わせ、バス代行輸送を行っている状況であり、近い将来廃止になるのではないかと心配しています。それまでには一度乗らなくては！(笑)
尚、2011年の集中豪雨の影響で柿ノ木駅が臨時駅になったと答えられた方が数人いらっしゃいましたが、乗降客がいないためです。



B 道路の変遷が詳しく書かれているのは、珍しかったので問題にしました。BQ-gの答えもここで確認しておいてもらう必要がありました。コース作成は1日で行いましたので、この記念碑を問題(Q-B)にして、写真を撮っておいたので、BQ-gの設定が出来ました。

C 予習問題でした。スタートで越後広瀬駅の標高を確認してもらう必要がありました。駅の標高が1mm単位まで書いてあったので、mm単位で答えて頂く問題にしました。

D 案内図の見どころを全て確認して頂ければ、問題なかったと思います。

E 何とか皆さんに中山隧道を歩いて欲しくて、この問題とQ-Fを設定しました。反対側の説明板の答えが、ガムテープ貼りだったので、無くならないか心配でした・・・。

F Q-Eだけだと、車で反対側に廻ってしまう方がいるかと思い、念には念を入れてこの問題を設定しました(笑)

G

	数(A)	定員(B)	(A*B)	合計
丸椅子	12	1人	12人	
半円状ベンチ	11	2人	22人	
長方形ベンチ	4	3人	12人	46人

H 看板の数え問題で、人(動物)やトイレの数を数える事は多いのですが、「自動車」を数えるのは珍しいと思ひ、問題にしました。特に紛らわしいものも無かったので、問題なかったと思います。所で、この看板のすぐ後ろにあった施設で、コマ図13図の目標物になっていた、「あまやち会館」ですが、皆さんちゃんと「あまやち」って読まれましたか？「あやまち」って読まれていませんか？(笑)

I 丸太(丸椅子)は、住居の中に6つ、外に5つの合計11ありましたので、 $11 \div 46 = 24\%$ でした。

J 看板には、「越後駒ヶ岳=2003m」「中の岳=2085m」「八海山=1778m」の3つの山が描かれていました。合計すると、5866mでした。

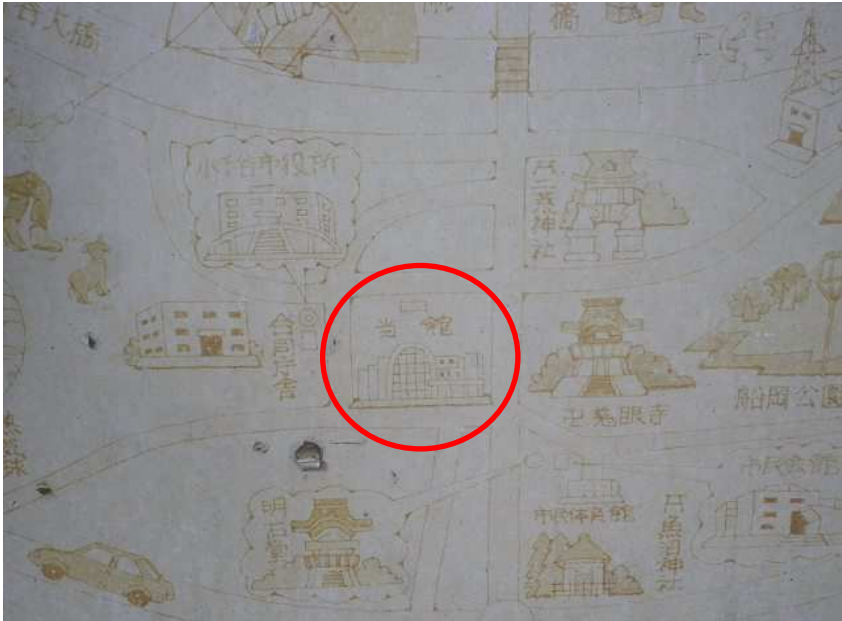
K 中山隧道の説明板(年表)を全て控えておく必要がありました。恐らく皆さんデジカメを活用されたでしょうね。金倉山林道の開通記念碑が建てられたのが、平成3年(1991年)ですので、それに一番近い年の出来事は、平成7年(1995年)の「山古志側坑口のコンクリート巻立て工事」でした。

L BQ-xのための設定問題だったのですが・・・。
答えは、説明板を見て頂ければ簡単でした。

M これも、問題なかったと思います。
県指定天然記念物の木々の中にある雰囲気の良い神社でしたが、鳥居だけが違和感がありましたね。

N 四角(長方形)の「旧公民館」もありましたが、小さな口(四角)は「たばこや」でした。小さくて見つけられなかったのか、意外と正解率が低かったです。
各家の説明表記が、明らかに住んでおられた方の名前や苗字もあったのですが、「川向い」や「てっこう」など何だろう？って思う表記で、地元の人にしか判らないものも沢山あって面白かったですね。



O	説明板を見て頂けたら、簡単だったと思います。 【解説】コースで書いた通りの意図した問題でした。
P	標柱には、「鋸山764.9m 花立峠GPS678m 登山口GPS200m」と書かれていました。 花立峠と登山口の標高は、GPSで計測した標高で、鋸山はGPSでない測り方の標高であると判ります。 標高と言えば、DRでクイズにも使われる三角点や水準点を使った計測を思い出されると思います。 下記URLの説明では、正式には「水準測量」の様ですが、三角点、三角測量なども正解としました。 http://uenishi.on.coocan.jp/n712suijyunten.html
Q	「萱峠コース」と「花立コース」は全く同じコースを歩くコースで、その所要時間が、 「萱峠コース」=4時間10分、「花立コース」=3時間50分でしたので、「萱峠コース」の方が登りが多いと考えられます。
R	これまた、予習問題でした。13図の記念碑にあった「亘四郎」は47、48代知事で、32図先の記念碑の「君健男」は49～52代知事でした。何代ではなく何人前後かの設問ですので、1人後になります。
B-a	ゴールの少し先、長岡温泉の入口の少し手前にありました。FCP地点のすぐ横にあった「長岡保養園」の窓に同じようなキノコのイラストが貼ってありましたので、気が付いて頂けたと思います。
B-b	Q-Bの記念碑を確認する際に気が付かれたと思います。 小平尾トンネルの入り口にありました。
B-c	2CPの少し手前の左手に有りました。記念碑の表には、「明治百年県行造林記念碑」とあり、裏には「昭和乙卯五十年」とありました。明治100年は、1967年に相当しますので、昭和50年=1975年は8年後になります。 ※明治100年の西暦を間違えていました。お恥ずかしい・・・(^_^;;
B-d	Q-Hの近くにあった駐車場の入口にありました。 チェックポイント資料の3CPの欄にヒントを入れていました。優しい作成者でしょう?(笑)
B-e	Q-Jのあったコマ図20図の右折地点の右手にありました。 割と小さな石碑だったので、問題文に「コマ図内にある・・・」のヒントを入れました。
B-f	30図内にありました。像に向かって左側面にあった説明文には、『昭和六十一年十一月十五日 八十歳の高齢で天寿を・・・』とありました。更に右側面の説明文には、『明治四十年一月十日に栖吉村に生まれた。』とありました。昭和61年=1986年で、明治40年=1907年ですから、没満年齢は79歳になります。
B-g	橋は、30図先にありました。9CPへ向かう際には、滝が見えにくい場所にありましたので気が付かなかった人が多かったと思いますが、9CPから戻る際には気が付かれたと思います。 親柱の銘板には、『昭和45年11月竣工』とありました。Q-Bの石碑の説明によると、「県道長岡小出線」に県道名が変わったのが昭和47年9月19日でしたので、22か月後になります。
B-x	残念がら問題の看板が撤去されてしまいキャンセルになってしまいましたが、ある方から正解を発表してくださいとの要望がありましたので、解説します。 看板は、Q-Lの木喰観音堂にありました。Q-Lの問題写真の左手に看板が写っていました。 写真は見にくいと思いますが、赤丸印に「当館」と書かれており、描かれた「当館」の外観イラストと、周辺にある施設(小千谷市役所、慈眼寺など)や道路の形状などから答えを探してもらったつもりでした。 私は、「小千谷 市役所」で検索し、検索結果の画像リストから、偶然1枚だけ紛れ込んでいたこの建物の写真を見つけ、この建物が「小千谷市総合産業会館サンプラザ」である事を知りました。
	
	https://www.google.co.jp/search?q=%E5%B0%8F%E5%8D%83%E8%B0%B7+%E5%B8%82%E5%BD%B9%E6%89%80&num 「小千谷市総合産業会館サンプラザ」 http://www.niigata-kankou.or.jp/ojiva/kyoukai/institution/2948.html
	答えを見つけるのに苦労したので、キャンセルになって非常に残念でした・・・(ToT)